2023年度　第16回 JFAトレセン関西Ｕ－14リーグ　実施要項

１　目的

関西のＵ－14年代の強化・育成のためにレベルの拮抗した『厳しい試合』を経験することを通して、選手個々及びチームのレベルアップを図り、関西からより多くの日本を代表する選手の輩出を目的に年間を通して開催する。あわせて、6府県トレセンとＪリーグジュニアユースの指導者の交流の場とする。

２　主催

（一社）関西サッカー協会

３　主管

(公社)滋賀県サッカー協会・(一社)京都府サッカー協会・(一社)大阪府サッカー協会
(一社)兵庫県サッカー協会・(一社)奈良県サッカー協会・(一社)和歌山県サッカー協会

４　日程

第１，２節　５月２８日(日)　ＮＡＲＡ　ＤＥＥＲ　・サンガタウン城陽人工芝グラウンド
第３，４節　６月２５日(日)　ＮＡＲＡ　ＤＥＥＲ　・野洲川歴史公園サッカー場B
第５，６節　１０月２２日(日)　奈良県フットボールセンター
第７，８節　１１月２６日(日)　野洲川歴史公園サッカー場A　・近江八幡健康ふれあい公園
第９節　各自対戦

５　組合せ対戦

	ＴＣ大阪	ＴＣ京都	ＴＣ兵庫	ＴＣ滋賀	ＴＣ奈良	ＴＣ和歌山	ガンバ大阪	セレッソ大阪	ヴィッセル神戸	京都サンガ
ＴＣ大阪	＊	5月28日 ● ３ － ４	10月22日	5月28日 ○ ３ － ２	10月22日	6月25日	各自対戦	6月25日	11月26日	11月26日
ＴＣ京都	5月28日 ○ ４ － ３	＊	6月25日	10月22日	10月22日	11月26日	6月25日	11月26日	5月28日 △ ３ － ３	各自対戦
ＴＣ兵庫	10月22日	6月25日	＊	6月25日	11月26日	5月28日 △ ０ － ０	10月22日	5月28日 ● １ － ２		11月26日
ＴＣ滋賀	5月28日 ● ２ － ３	10月22日	6月25日	＊	各自対戦	11月26日	11月26日	10月22日	6月25日	5月28日 ● １ － ５
ＴＣ奈良	10月22日	10月22日	11月26日	各自対戦	＊	6月25日	5月28日 ○ ３ － ２	5月28日 ● １ － ３	11月26日	6月25日
ＴＣ和歌山	6月25日	11月26日	5月28日 △ ０ － ０	11月26日	6月25日	＊	5月28日 ○ ２ － １	各自対戦	10月22日	10月22日
ガンバ大阪	各自対戦	6月25日	10月22日	11月26日	5月28日 ● ２ － ３	5月28日 ● １ － ２	＊	11月26日	6月25日	10月22日
セレッソ大阪	6月25日	11月26日	5月28日 ○ ２ － １	10月22日	5月28日 ○ ３ － １	各自対戦	11月26日	＊	10月22日	6月25日
ヴィッセル神戸	11月26日	5月28日 △ ３ － ３		6月25日	11月26日	10月22日	6月25日	10月22日	＊	5月28日 ● ０ － ９
京都サンガ	11月26日	各自対戦	11月26日	5月28日 ○ ５ － １	6月25日	10月22日	10月22日	6月25日	5月28日 ○ ９ － ０	＊

６　参加資格

①　選手は2009(平成21)年1月1日以降2010(平成22)年4月1日以前に生まれ、(公財)日本サッカー協会に登録している選手であること。

②　各府県のトレセン活動に参加し、活動している選手であること。または、関西のＪリーグアカデミージュニアユースチームに所属している選手であること。

③　Jリーグの下部組織のチームについては、中3の選手のうち、出場機会が少ない選手についての出場を認める。

7　競技規定

①　当該年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。

②　試合時間は60分(30分-5分-30分)とし、参加10チームによる総当たりのリーグ戦とする。

③　リーグの順位は次の通りとする。

1)　勝ち　3点、　引き分け　1点、　負け　0点とし、
勝ち点の合計により順位を決定する。

2)　勝ち点が同じ場合は、得失点差の多いチームを上位とする。

3)　得失点差が同じ場合は、総得点の多いチームを上位とする。

④　エントリー選手は、試合ごとに18名以内とし、登録した最大7名の交代要員の中から認められる。但し、怪我の場合はこの限りではない。

⑤　試合ごとに対戦チームと本部に１部ずつエントリー用紙を提出する。

⑥　本大会中に、警告を累積2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
退場を命じられた場合は、次の1試合に出場できず、その後の処置は大会規律委員会にて決定する。

⑦　ユニフォームは、必ず2着(正・副)準備し、(公財)日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に準ずる。

8　その他

①　本部運営(記録を含む)は第４審を努める。

②　本リーグ戦中に発生した事故等については、各チームが責任を負う。

③　救急体制については、各会場運営担当者に確認すること。

④　試合運営者は、試合結果を事務局に連絡すること。

⑤　副審については、当該チームより1名ずつ出し合って行う。(選手でも可)